



〒460-0022
名古屋市中区金山1-4-10 名古屋市音楽プラザ4F
Tel. 052-322-2774 Fax. 052-322-3066

名フィル・チケットガイド Tel. 052-339-5666
<http://www.nagoya-phil.or.jp/>

常任指揮者: ティエリー・フィッシャー

名フィル
Nagoya Philharmonic Orchestra since 1966

名古屋フィルハーモニー交響楽団
NAGOYA PHILHARMONIC ORCHESTRA
2009.4-2010.3
シーズン・プログラム
SEASON PROGRAM

THIERRY
FISCHER
Nagoya Philharmonic Orchestra
CHIEF CONDUCTOR

名古屋フィルハーモニー交響楽団

名古屋フィルハーモニー交響楽団

1966年7月10日に結成。翌年10月、第1回定期演奏会を開催。1973年4月、名古屋市の出捐により財団法人となる。2008年4月より、スイス人のティエリー・フィッシャーが第7代常任指揮者に就任。

歴代の指揮者は、岩城宏之、福村芳一、森正、荒谷俊治、外山雄三、モーシェ・アツモン、飯守泰次郎、小林研一郎、沼尻竜典。また1995年には、ポップスオーケストラ・ミュージックディレクターにボブ佐久間が就任し、＜名フィル・ポップスオーケストラ＞としてユニークな活動を展開している。

2002年にウィーン・フィルのコンサートマスターであるライナー・ホーネックが首席客演コンサートマスターに就任。2004年にウィーン国立歌劇場の総監督であるイオアン・ホーレンダーが芸術アドバイザーに就任。ウィーンとの結び付きを強め、より一層の芸術レベル向上を目指す。

これまでに、朝比奈隆、クルト・ヴェス、小澤征爾、ヤコフ・クライツベルク、ヘルベルト・ケーゲル、ワレリー・ゲルギエフ、ズデニェク・コシュラー、ピнкаス・ズッカーマン、ルドルフ・バルシャイ、ウラディーミル・フェドセーエフ、ラファエル・フリュベック・デ・ブルゴス、ジャン・フルネ、パーヴォ・ヤルヴィ、ハインツ・ワルベルクといった世界的な指揮者が客演。シュテファン・ヴラダー、ゲルハルト・オピッツ、エフゲニー・キーン、スティーヴン・コヴァセヴィチ、ジャン＝フィリップ・コラール、ジャン＝イヴ・ティボーデ、ルドルフ・フィルクスナー、イエフム・ブロンフマン、アンドレ・ワッツ（ピアノ）、サルヴァトーレ・アカルド、マキシム・ヴェンゲーロフ、ギドン・クレーメル、アイザック・スターン、ジョルジュ・バウク、アンネ＝ゾフィー・ムター（ヴァイオリン）、今井信子、キム・カシュカシアン（ヴィオラ）、スティーヴン・イッサーリス、ヤーノシュ・シュタルケル、アンナー・ビルスマ、ボリス・ベルガメンシコフ、ミッシェル・マイスキー、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、ジャン・ワン（チェロ）、サー・ジェームズ・ゴールウェイ（フルート）、モーリス・ブルグ（オーボエ）、モーリス・アンドレ（トランペット）、白井光子、ゲーナ・ディミトロヴァ（ソプラノ）、ベルント・ヴァイクル（バリトン）といった世界的なソリストと

共演。

1988年に初の海外公演としてヨーロッパ2カ国ツアー（フランス、スイス 広上淳一指揮）を、2000年にアジア8カ国ツアー（ブルネイ、シンガポール、フィリピン、韓国、マレーシア、ベトナム、タイ、台湾 本名徹次指揮）、2004年に「ブラハの春」国際音楽祭からの正式招待を受けたヨーロッパ3カ国ツアー（ドイツ、オーストリア、チェコ 沼尻竜典、武藤英明、トマーシュ・ハヌス指揮）、2006年にアジア7カ国ツアー（シンガポール、フィリピン、台湾、韓国、タイ、香港、マレーシア 下野竜也指揮）を実施、大成功を収める。

これまでに、東海テレビ文化賞（1990年）、愛知県芸術文化選奨文化賞（1991年）、文化庁芸術作品賞・レコード部門（1997年）を受賞。

現在は、愛知県芸術劇場コンサートホール、中京大学文化市民会館オーロラホールを主会場に、年間約120回の演奏会を行なっている。

歴代指揮者	称 号	任 期
岩城宏之	音楽総監督	1971.04 - 1974.03
福村芳一	常任指揮者	1971.04 - 1974.03
森正	音楽総監督	1974.04 - 1980.06
荒谷俊治	常任指揮者	1974.04 - 1980.06
外山雄三	音楽総監督 兼 常任指揮者	1981.01 - 1987.03
モーシェ・アツモン	常任指揮者	1987.04 - 1993.03
	名誉指揮者	1993.04 -
飯守泰次郎	常任指揮者	1993.04 - 1998.03
	音楽総監督	1998.04 - 2001.03
小林研一郎	音楽監督	2001.04 - 2003.03
	桂冠指揮者	2003.04 -
沼尻竜典	常任指揮者	2003.04 - 2006.03
ティエリー・フィッシャー	常任指揮者	2008.04 -

Nagoya Philharmonic Orchestra

Musicians from the City of Nagoya and the surrounding area founded the Nagoya Philharmonic Orchestra (NPO) in July 1966. Their first subscription concert was held in October 1967.

In 1971, NPO appointed Hiroyuki IWAKI as the General Music Director and Yoshikazu FUKUMURA as the Permanent Conductor to help establish itself as a successful orchestra. In April 1973, NPO received an endowment from the City of Nagoya. Tadashi MORI was appointed as the General Music Director in 1974, with Shunji ARATANI as the Permanent Conductor.

Yuzo TOYAMA became the General Music Director and the Permanent Conductor of NPO in January 1981. NPO enhanced its standards and range by expanding both its repertoire and members. In 1986, NPO celebrated its 20th anniversary with a number of special events and concerts.

Moshe ATZMON was appointed as the Permanent Conductor in April 1987. NPO made its first international tour with Jun'ichi HIROKAMI in September 1988 to France and Switzerland, was receiving high acclaim. NPO was awarded the 23rd Tokai TV Cultural Prize in November 1990, and the Aichi Prefecture Arts and Culture Prize the following March. With the appointment of Taijiro IIMORI as the Permanent Conductor in April 1993, Moshe ATZMON became an Honorary Conductor of NPO. In 1995, NPO embarked on a new enterprise, the Nagoya Philharmony Pops Orchestra was launched with Bob SAKUMA as the Pops Orchestra Music Director. The live CD recording of the 30th Anniversary Concert, held at Suntory Hall (Tokyo), won the 1996 Agency for Cultural Affairs Work of Art Award in the Recording Division in March 1997.

In April 1998, Ken'ichiro KOBAYASHI was appointed as the General Music Director. In 2000, NPO made its second international tour to Asian countries with Tetsuji HONNA, was a great success in Brunei, Singapore, The Philippines, South Korea, Malaysia, Vietnam, Thailand and Taiwan.

In April 2003, Ryusuke NUMAJIRI was appointed as the Chief Conductor and Ken'ichiro KOBAYASHI was appointed as the Conductor Laureate. NPO was invited to "The Prague Spring International Music Festival" and had successful second Europe tour in May 2004 to Germany, Austria and Czech with Ryusuke NUMAJIRI, Hideaki MUTO and Tomáš HANUS. In 2006, NPO made its second Asia tour to

Singapore, The Philippines, Taiwan, South Korea, Thailand, Hong Kong, Malaysia with Tatsuya SHIMONO.

In April 2008, Swiss Conductor Thierry FISCHER who is Principal Conductor of BBC National Orchestra of Wales, was appointed as the Chief Conductor.

Meanwhile, NPO performed with some of the leading conductors and soloists as well as Takashi ASAHINA, Rudolf BARSHAI, Vladimir FEDOSEEV, Jean FOURNET, Rafael Frühbeck de BURGOS, Valery GERGIEV, Paavo JÄRVI, Herbert KEGEL, Zdenek KOŠLER, Yakov KREIZBERG, Seiji OZAWA, Heinz WALLBERG, Kurt WÖSS, Pinchas ZUKERMAN (Conductor), Yefim BRONFMAN, Jean-Philippe COLLARD, Rudolf FIRKUŠNÝ, Yevgeny KISSIN, Stephen KOVACEVICH, Gerhard OPPITZ, Jean-Yves THIBAUDET, Stefan VLADAR, Andre WATTS (Piano), Salvatore ACCARDO, Gidon KREMER, Anne-Sophie MUTTER, György PAUK, Isaac STERN, Maxim VENGEROV (Violin), Nobuko IMAI, Kim KASHKASHIAN (Viola), Anna BYLSMA, Steven ISSERLIS, Mischa MAISKY, Boris PERGAMENSCHIKOV, Mstislav ROSTROPOVICH, Janos STARKER, Jian WANG (Cello), Sir James GALWAY (Flute), Maurice BOURGUE (Oboe), Maurice ANDRÉ (Trumpet), Ghenă DIMITROVA, Mitsuko SHIRAI (Soprano), Bernd WEIKL (Baritone) and its reputation continued to grow.

Today, NPO performs approximate 120 concerts a year which are mainly held at the Aichi Prefectural Arts Theater Concert Hall and the Chukyo University Center for Culture & Arts Aurora Hall.

Conductor	Title	Period
Hiroyuki IWAKI	General Music Director	1971.04 - 1974.03
Yoshikazu FUKUMURA	Permanent Conductor	1971.04 - 1974.03
Tadashi MORI	General Music Director	1974.04 - 1980.06
Shunji ARATANI	Permanent Conductor	1974.04 - 1980.06
Yuzo TOYAMA	General Music Director and Permanent Conductor	1981.01 - 1987.03
Moshe ATZMON	Permanent Conductor	1987.04 - 1993.03
	Honorary Conductor	1993.04 -
Taijiro IIMORI	Permanent Conductor	1993.04 - 1998.03
	General Music Director	1998.04 - 2001.03
Ken'ichiro KOBAYASHI	Music Director	2001.04 - 2003.03
	Conductor Laureate	2003.04 -
Ryusuke NUMAJIRI	Chief Conductor	2003.04 - 2006.03
Thierry FISCHER	Chief Conductor	2008.04 -



1957年生まれのスイス人指揮者ティエリー・フィッシャーは、2008年4月に名古屋フィルハーモニー交響楽団の常任指揮者に就任。現在は2006年9月から務めているBBCウェールズ・ナショナル管弦楽団の首席指揮者と兼任している。2001-06年には、アルスター管弦楽団の首席指揮者兼芸術アドバイザーを務めた。

フルートをオーレル・ニコレに師事し、音楽家としてのキャリアを、ハンブルク州立歌劇場およびチューリッヒ歌劇場の首席フルート奏者としてスタートさせた。チューリッヒでは、ニコラウス・アーノンクールにスコアを学び、強い影響を受ける。30代で、体調不良の指揮者の代役として指揮のキャリアを始め、最初のいくつかのコンサートでは、自身がクラウディオ・アバドの下で首席フルート奏者を務めていたヨーロッパ室内管弦楽団を指揮。アバドは指揮という

自身にとっての新たな才能を励ましてくれた。オランダで経験を積んだ後、英国とヨーロッパの一流オーケストラに出演している。BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団の首席指揮者就任披露公演では、フローラン・シュミット「詩篇47番」を指揮。同曲は英ハイペリオン・レーベルのフランス音楽シリーズ第1弾としてレコーディング。また、メシアン「トゥーランガリラ交響曲」は、BBCミュージック・マガジンの付録CDとしてライヴ・レコーディングされている。両者は2007年1月にアメリカ・ツアーを行ない、素晴らしい評価を受けた。両者の今後の共同作業は、更なるツアーやハイペリオンへのレコーディング、BBCプロムス（ロンドン）への毎年の出演、メシアンとデュティユー作品の音楽祭などの計画がある。アルスター管弦楽団（北アイルランド、ベルファスト）の首席指揮者兼芸術アドバイザーの任期中は、ブラハ、ニューヨークにツアーを行ない、BBCプロムスに出演。シューベルト、メンデルスゾーン、ベートーヴェン、ブラームス、シューマン、オネゲルのツイクスを指揮している。ジャン・フランセ作品集のレコーディングより、ハイペリオンとの関係が深まり、彼の幅広いディスコグラフィーには、ASV、シャンドス



常任指揮者
ティエリー・フィッシャー

Profile

Thierry FISCHER
(Chief Conductor)

ユー、2007年に再客演している。

英国での人気は高く、これまでにフィルハーモニア管弦楽団、バーミンガム市交響楽団、ハレ管弦楽団、BBC交響楽団に客演。最近のシーズンでは、フランス放送フィル、ロイヤル・ストックホルム・フィル、ハノーファー北ドイツ放送フィル、ルガーノ放送交響楽団、ザールブリュッケン放送交響楽団、ベルリン交響楽団、ネザーランド・フィル、コロラド交響楽団、モンテカルロ・フィル、リヨン国立管弦楽団、エーテボリ交響楽団などに客演。2007-08シーズンには、ユタ交響楽団、バーデンバーデン&フライブルクSWR（南西ドイツ）放送交響楽団、マレーシア・フィルにデビューしている。

シンフォニー・オーケストラと並行して、スコットランド室内管弦楽団、ノーザン・シンフォニア、オランダ放送室内管弦楽団、パリ室内管弦楽団など、名門室内オーケストラとも密接な関係を築いている。さらにオーストラリア室内管弦楽団、ローザンヌ室内管弦楽団、チューリッヒ室内管弦楽団、ミュンヘン室内管弦楽団、スウェーデン室内管弦楽団にも客演している。

など英国のレーベルに加え、グラモフォン賞にノミネートされたヨーロッパ室内管弦楽団とのドイツ・グラモフォンへのフランク・マルタン作品集のディスクも含まれる。

タッチの軽さとテクスチュアの明瞭さが優れた特徴であり、それが彼の独特な解釈をもたらしている。鋭い様式感覚を持ち、バッハ、古典派、初期ロマン派から新ウィーン楽派、フランス印象主義にわたる広範なレパートリーに新鮮なアプローチをもたらしている。同国人であるフランク・マルタンとオネゲルの熱心な擁護者であり、プロコフィエフ、ストラヴィンスキー、ショスタコーヴィチの音楽に、特別な感情を抱いている。メシアンにも親しみ、2008年のBBCによるメシアン生誕100年を記念した企画では、中心的な役割を担った。近現代の作曲家の作品を定期的にプログラムに取り入れており、2006年にはロンドン・シンフォニエッタにデビ

定期演奏会 <四季シリーズ>

SUBSCRIPTION CONCERTS <FOUR SEASONS SERIES>
会場＝愛知県芸術劇場コンサートホール（座席表＝P.28）
AICHI PREFECTURAL ART THEATER CONCERT HALL

名フィルの活動の中心となっている「定期演奏会」。毎回著名な指揮者、魅力あふれるソリストを迎えてお贈りしています。衝撃の<ツァラトゥストラ・シリーズ>から1年、常任指揮者ティエリー・フィッシャーが名フィルとの2シーズン目に温めていたプログラムは「四季」でした。年間11回22公演、実際に名古屋の季節を通して、四季の美しさを音楽でも味わえる、練られた曲目にご注目ください。



ようこそ、私たちの2009.4-2010.3シーズンへ！

私は、名フィルとの2シーズン目に皆様をお迎えすることができ、大いに喜ばしく思います！
1シーズン目の成功を受け、私は、高いモチベーションと情熱を持った名フィルを信頼し、とても誇りに思います。壮大な冒険への準備はできました！！
このシーズン、私たちは非常に楽しい音楽を、春・夏・秋・冬といった四季を通して旅していきます。
シーズンのオープニングはハイドン『四季』よりインスピレーションを受けつつ始まり、メンデルスゾーン「交響曲『イタリア』」、チャイコフスキー「交響曲第1番」、シューマン「交響曲『春』」、エルガー「交響曲第2番」、そして劇的なリヒャルト・シュトラウス「アルプス交響曲」などとてもロマンティックな曲目でコンサートは続きます。
そしてきっと皆様楽しみにしていられる同作曲家による有名な「4つの最後の歌」に加え、シベリウス、ベルク、ブルッフの「ヴァイオリン協奏曲」、名フィル定期演奏会史上最年少ソリスト＝北村朋幹によるモーツァルトの「ピアノ協奏曲」、世界が誇るスター・フルーティストであり、ヴァルトウオーゾのエマニュエル・バユによる「カルメン幻想曲」など、素晴らしい協奏作品が演奏されます。

私は、季節の移り変わりにインスパイアされた1年を通じた旅の中に、想像力や好奇心をかきたてる幾つかのサプライズを皆様が見つけられるような方法を盛り込んでみました。それを名古屋の皆様にご紹介できることを大変誇りに思います。
このシーズン全ては、数々の偉大なゲスト・アーティストを名古屋にお迎えする素晴らしい特権なしには起こりえなかったでしょう。ライナー・ホーネックから、鈴木雅明・秀美兄弟、尾高忠明、イラン・ヴォルコフ、オーギュスタン・デュメイ、今井信子、クラウス・ペーター・フロール、広上淳一らに加え、私の同国人であり、とてもインスパイアされるアーティスト、ハインツ・ホリガーがオーボエ奏者／指揮者として名フィルに登場します！！！！
皆様が、「生の音楽＝ライヴ・ミュージック」という特別な喜びを、私たちと一緒に楽しんでいただくことを心から望んでおります。
皆様のご来場を楽しみにするとともに、音楽の旅のスタートが待ちきれません！

ティエリー・フィッシャー

第357回 四季
THE 357TH FOUR SEASONS

4/24(金) 6:45PM • 4/25(土) 4:00PM
APR. 24 (FRI.) 6:45PM / APR. 25 (SAT.) 4:00PM

【ハイドン没後200年記念プログラム】
THE 200TH ANNIVERSARY PROGRAM OF HAYDN'S DEATH
◆ハイドン：オラトリオ「四季」Hob.XXI-3
F. J. Haydn: The Seasons, Hob.XXI-3

Photo: K. Minra

【指揮】
鈴木秀美
Conductor: Hidemi SUZUKI

【合唱】
合唱団ノース・エコー（〔合唱指揮〕長谷順二）
Chorus: North Echo
(Chorus Master: Junji HASE)

1回券料金 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000
C席¥3,000 D席¥2,000 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年2月25日(水)

ソリストとして、バッハ・コレギウム・ジャパンのチェリストとして、世界で活躍するチェロ奏者／指揮者の鈴木秀美がモダン・オーケストラの定期演奏会に初登場となります。音楽監督を務めるオーケストラ・リベラ・クラシカでは、高い表現力と斬新なアプローチで

ハイドンの交響曲に新たな光を当て、また、古楽レクチャーなどでハイドンについて語るなど、2009年の記念すべき年にハイドンを振るならこの人しかいません！ 名ソリスト3人と地元合唱団が脇を固め、自然、そして神への賛歌が、四季＝人生を通して歌われます。

Photo: Yoji Imai

【ソプラノ】
森麻季
Soprano: Maki MORI

【テノール】
櫻田亮
Tenor: Makoto SAKURADA

【バス】
清水宏樹
Bass: Hiroki SHIMIZU

定期演奏会 <四季シリーズ>

SUBSCRIPTION CONCERTS <FOUR SEASONS SERIES>

会場=愛知県芸術劇場コンサートホール (座席表=P.28)
AICHI PREFECTURAL ART THEATER CONCERT HALL

第358回 春のロンド

5/22(金) 6:45PM・5/23(土) 4:00PM
MAY 22 (FRI.) 6:45PM / MAY 23 (SAT.) 4:00PM

◆グラスノフ:交響的絵画「春」作品34

A. Glazunov: Symphonic Picture "Spring", Op.34

◆シベリウス:ヴァイオリン協奏曲二短調 作品47*

J. Sibelius: Violin Concerto in D minor, Op.47*

◆ドビュッシー:管弦楽のための「映像」

C. Debussy: Images for Orchestra



【指揮】
イラン・ヴォルコフ
Conductor: Ilan VOLKOV



【ヴァイオリン】
ライナー・ホーネック*
Violin: Rainer HONECK*

1回券料金 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000
C席¥3,000 D席¥2,000 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年2月25日(水)

1976年イスラエル生まれのイラン・ヴォルコフが名フィル・デビュー! フィッシャーが首席指揮者を務めるBBCウェールズ・ナショナル管のおよそ600km北、BBCスコティッシュ響の首席指揮者になんと26歳という若さで就任している実力派です。『映像』はBBCスコティッシュ響はもちろん、シドニー響、チェコ・フィルなど世界中で指

揮している得意曲! 久々にソリストとしての定期登場となる首席客演コンサートマスターのライナー・ホーネックは、シベリウスが残した唯一の「ヴァイオリン協奏曲」を奏でます。ウィーン・フィルのコンサートマスターが贈る、ヴァイオリンの至芸にご期待ください。

第359回 春の祭典

6/12(金) 6:45PM・6/13(土) 4:00PM
JUN. 12 (FRI.) 6:45PM / JUN. 13 (SAT.) 4:00PM



【ピアノ】
北村朋幹*
Piano: Tomoki KITAMURA*



【指揮】
ティエリー・フィッシャー
Conductor: Thierry FISCHER

【ストラヴィンスキー三大バレエⅠ】
STRAVINSKY: THE THREE BALLET 1

◆ショスタコーヴィチ:祝典序曲 作品96

D. Shostakovich: Festive Overture, Op.96

◆モーツァルト:ピアノ協奏曲第9番変ホ長調 K.271
「ジュノーム」*

W. A. Mozart: Piano Concerto No.9 in E flat major, K.271 "Jeunehomme"*

◆ストラヴィンスキー:バレエ「春の祭典」

I. Stravinsky: The Rite of Spring

1回券料金 S席¥7,000 A席¥6,000 B席¥5,000 C席¥4,000 D席¥3,000
Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年2月25日(水)

常任指揮者ティエリー・フィッシャーは、自身が“特別な感情を抱いている作曲家”ショスタコーヴィチの名曲「祝典序曲」で華々しく登場します。

オーケストラ作品で「春」と言ってまず浮かぶのは、当然『春の祭典』でしょう! 極めてリズムカルに激しく、大編成の管弦楽が春の訪れを祝福します。

2005年東京音楽コンクール第1位、2006年浜松国際ピアノコンクール第3位と、ピアニストとして輝かしい階段を急速に駆け上り続けている、愛知県立明和高等学校在学中の北村朋幹が名フィル定期演奏会史上最年少ソリストとして初登場! 満を持しての舞台、モーツァルトの初期のピアノ協奏曲「ジュノーム」で瑞々しさと、堂々たる風格で羽ばたきます。

第360回 真夏の夜の夢

7/10(金) 6:45PM・7/11(土) 4:00PM
JUL. 10 (FRI.) 6:45PM / JUL. 11 (SAT.) 4:00PM

【メンデルスゾーン生誕200年記念プログラム】
THE 200TH ANNIVERSARY PROGRAM OF MENDELSSOHN'S BIRTH

◆メンデルスゾーン:演奏会序曲

「ヘブリーデン(フィンガルの洞窟)」作品26

F. Mendelssohn: Overture "Die Hebriden (Die Fingalshöhle)", Op.26

◆メンデルスゾーン:

交響曲第4番イ長調 作品90「イタリア」

F. Mendelssohn: Symphony No.4 in A major, Op.90 "Italian"

◆メンデルスゾーン:

劇音楽「真夏の夜の夢」作品21,61 全曲*

F. Mendelssohn: A Midsummer Night's Dream, Op.21, 61 (Complete)*



【指揮】
鈴木雅明
Conductor: Masaaki SUZUKI



【ソプラノ】
柏原奈穂*
Soprano: Naho KASHIWABARA*



【ソプラノ】
松井亜希*
Soprano: Aki MATSUI*



【女声合唱】
愛知県立芸術大学女声合唱団
〔合唱指揮〕長谷耀二*
Female Chorus: Female Chorus of Aichi Prefectural University of Fine Arts and Music (Chorus Master: Junji HASE)*



【語り】
穂谷友子*
Narrator: Tomoko MARIYA*

1回券料金 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000
C席¥3,000 D席¥2,000 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年4月8日(水)

2009年は大作曲家メンデルスゾーンのアニヴァーサリー・イヤーを、盛大にお祝いしましょう! 名曲「ヘブリーデン(フィンガルの洞窟)」、交響曲の中でも人気の高い「イタリア」に加え、代表作「真夏の夜の夢」はソプラノ、女声合唱、語りを加えた豪華版。「序曲」、「結婚行進曲」などの豊かなメロディに耳を傾けつつ、宝塚出身、

舞台や映画で活躍する女優=穂谷友子の語り、指揮者の信頼も篤い2人のソプラノの歌声でお楽しみください。パッパ・コレギウム・ジャパンの音楽監督として知られる鈴木雅明が、指揮者として名フィル定期に初登場! かつてパッパ作品の復興を行なったメンデルスゾーンを名古屋に甦らせませす。

第361回 夏風の中で

9/4(金) 6:45PM・9/5(土) 4:00PM
SEP. 4 (FRI.) 6:45PM / SEP. 5 (SAT.) 4:00PM



【ヴァイオリン】
オーギュスタン・デュメイ*
Violin: Augustin DUMAY*



【指揮】
ティエリー・フィッシャー
Conductor: Thierry FISCHER

【ストラヴィンスキー三大バレエⅡ】
STRAVINSKY: THE THREE BALLET 2

◆ウェーベルン:牧歌「夏風の中で」

A. Webern: Idyll "In the Summerwind"

◆ベルク:ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」*

A. Berg: Violin Concerto "To the Memory of an Angel"*

◆ストラヴィンスキー:バレエ「火の鳥」全曲

I. Stravinsky: The Firebird (Complete)

1回券料金 S席¥8,000 A席¥7,000 B席¥6,000 C席¥5,000 D席¥4,000
Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年5月13日(水)

現代最高のヴァイオリニストの一人、オーギュスタン・デュメイが名フィル初登場! 近年は指揮活動も盛んですが、ヴァイオリニストとしてはイザイやグリムオーなどに代表されるフランコ=ベルギー楽派の正当な継承者として、孤高の存在と言えるでしょう。ベルクが生涯最後に完成させた鎮魂の協奏曲「ある天使の思い出に」でその妙技を味わってください。

常任指揮者フィッシャーは6月の『春の祭典』に続いて、9月もストラヴィンスキーのバレエより「火の鳥」をチョイス。組曲版ではなく4管編成のオーケストラによる全曲版で、夏の終わりを盛り上げます。

ウェーベルンの初期作品「夏風の中で」は、大管弦楽の中をさわやかな夏風が駆け抜ける秀作です。

定期演奏会 <四季シリーズ>

SUBSCRIPTION CONCERTS <FOUR SEASONS SERIES>

会場＝愛知県芸術劇場コンサートホール（座席表＝P.28）

AICHI PREFECTURAL ART THEATER CONCERT HALL

第362回

ア・ストリング・アラウンド・オータム

THE 362ND A STRING AROUND AUTUMN

10/16(金) 6:45PM・10/17(土) 4:00PM

OCT. 16 (FRI.) 6:45PM / OCT. 17 (SAT.) 4:00PM

◆リャドフ：交響詩『魔法にかけられた湖』作品62

A. Liadov: The Enchanted Lake, Op.62

◆武満徹：ア・ストリング・アラウンド・オータム*

T. Takemitsu: A String around Autumn*

◆エルガー：交響曲第2番変ホ長調 作品63

E. Elgar: Symphony No.2 in E flat major, Op.63



【指揮】
尾高忠明
Conductor: Tadaaki OTAKA



【ヴィオラ】
今井信子*
Viola: Nobuko IMAI*

1回券料金 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000
C席¥3,000 D席¥2,000 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年7月8日(水)

日本が誇るエルガーの権威＝尾高忠明が名フィル定期に9回目の登場で「交響曲第2番」(名フィル初演)を指揮します。崩御したエドワード7世に献呈されたこの曲、世相を反映したほの暗さの中に、エルガーらしい高貴なメロディが希望を導きます。「バリの秋」音楽祭のために武満が書き下ろした「ア・ストリング・アラウン

ド・オータム(秋をたたむ組)」ではヴィオラの音色が秋を彩ります。初演者でもある世界的ヴィオラ奏者＝今井信子は名フィル定期に19年ぶり、2回目の登場です。ほとんど全曲が *PP* (ピアノ・シモ) で奏される幻想的な「魔法にかけられた湖」はマエストロが特に得意としている一曲です。

第363回

11月の森

THE 363RD NOVEMBER WOODS

11/13(金) 6:45PM・11/14(土) 4:00PM

NOV. 13 (FRI.) 6:45PM / NOV. 14 (SAT.) 4:00PM

◆バックス：交響詩「11月の森」

A. Bax: November Woods

◆ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調 作品26*

M. Bruch: Violin Concerto No.1 in G minor, Op.26*

◆グリーグ：劇音楽「ペール・ギュント」

第1組曲 作品46, 第2組曲 作品55

E. Grieg: "Peer Gynt" Suite No.1, Op.46, No.2, Op.55



【指揮】
広上淳一
Conductor: Jun'ichi HIROKAMI



【ヴァイオリン】
ボリス・ベルキン*
Violin: Boris BELKIN*

1回券料金 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000
C席¥3,000 D席¥2,000 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年7月8日(水)

英国が生んだ天才バックスが、晩秋のバッキンガムシャー(イングランド)の森を表現した「11月の森」に続き、ブルッフの超名曲「ヴァイオリン協奏曲第1番」は、名フィル定期では第106回以来なんと20年ぶりの演奏! 世界トップクラスのオーケストラと共演を重ねるボリス・ベルキンがスケールの大きな表現力で奏でます。グリ

ーグの傑作「ペール・ギュント」は、イブセンの同名の戯曲のために作曲された作品で、「朝」や「山の魔王の宮殿にて」など、親しみやすいメロディが盛りだくさんです。京都市響の常任指揮者であり、世界各地で大活躍の広上淳一が名フィル定期に5回目の登場です!

若者・学生必見! Y席とは…?

本冊子<シーズン・プログラム>に記載の公演はすべて、チケット料金の最後に「Y席¥1,000」という表示があります。これは、Youth(ユース＝若者)席の意味で、24歳以下の方により良い音楽をたくさん聴いていただけるように、2006年4月より新設されました。公演当日、各コンサート会場の「当日券窓口」にて、公演当日のみ販売されます。ぜひご利用いただき、お得にコンサートをお楽しみください。

その他各種割引についての詳細はP.22へ

07

第364回

燃える炭火に照らされた夕べ

THE 364TH EVENINGS ILLUMINATED BY THE HEAT OF COAL

12/11(金) 6:45PM・12/12(土) 4:00PM

DEC. 11 (FRI.) 6:45PM / DEC. 12 (SAT.) 4:00PM



【指揮】
ティエリー・フィッシャー
Conductor: Thierry FISCHER



【ピアノ】
碓山典子**
Piano: Noriko IKARIYAMA**



【フルート】
エマニュエル・パユ*
Flute: Emmanuel PAHUD*

人気絶頂、世界トップクラスのフルート奏者＝エマニュエル・パユがついに名フィル初登場! パユ自身によって2007年3月に初演(ハインツ・ホリガー指揮/スイス・ロマン管)されたばかりの、スイスの作曲家ジャレルによる「…静寂の時…」では、パユの真骨頂である超絶技巧が堪能できるでしょう。

2001年にアメリカで発見されたドビュッシーのピアノ曲「燃える炭火に照らされた夕べ」を基に、ホリガーが大管弦楽のためにオーケストレーションした「アルドゥル・ノワール」(日本初演)も聴き逃せません。

「春の祭典」、「火の鳥」に続き「ペトルーシュカ」で、ストラヴィンスキーの三大バレエを完結させるフィッシャーは、大編成の1911年版でオーケストラを導きます!

【ストラヴィンスキー三大バレエⅢ】
STRAVINSKY: THE THREE BALLETS 3

◆ボルン：カルメン幻想曲*

F. Borne: Carmen Fantasy*

◆ドビュッシー【カブレ編】：組曲「子供の鎮分」より「雪は踊っている」

C. Debussy [Arr. A. Caplet]: 'The Snow is Dancing' from 'Children's Corner'

◆ジャレル：フルート協奏曲「…静寂の時…」(日本初演)*

M. Jarrell: "... Un temps de silence..." - Flute Concerto <Japan Premiere>*

◆ドビュッシー／ホリガー：アルドゥル・ノワール(黒い熱)

ードビュッシーの「燃える炭火に照らされた夕べ」による(日本初演)

C. Debussy / H. Holliger: Ardeur Noire - based on Claude Debussy's piano piece 'Evenings Illuminated by the Heat of Coal' <Japan Premiere>

◆ストラヴィンスキー：バレエ「ペトルーシュカ」[1911年版]**

I. Stravinsky: Pétrouchka [1911 version]**

1回券料金 S席¥8,000 A席¥7,000 B席¥6,000 C席¥5,000 D席¥4,000
Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年9月9日(水)

第365回

冬の日の幻想

THE 365TH WINTER DAYDREAM

2010.1/22(金) 6:45PM・1/23(土) 4:00PM

2010 JAN. 22 (FRI.) 6:45PM / JAN. 23 (SAT.) 4:00PM

◆武満徹：ウィンター

T. Takemitsu: Winter

◆R.シュトラウス：4つの最後の歌 AV.150*

R. Strauss: Four Last Songs, AV.150*

◆チャイコフスキー：交響曲第1番ト短調 作品13

「冬の日の幻想」

P. Tchaikovsky: Symphony No.1 in G minor, Op.13 "Winter Daydream"



【指揮】
ダグラス・ボイド
Conductor: Douglas BOYD



【ソプラノ】
平松英子*
Soprano: Eiko HIRAMATSU*

1回券料金 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000
C席¥3,000 D席¥2,000 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年9月9日(水)

オーボエ奏者として活躍し、フルート奏者時代のフィッシャーとはヨーロッパ室内管で同僚だったダグラス・ボイドが指揮者として日本デビュー! 欧米の楽団に数多くのポストを持つ、注目の指揮者です。札幌オリンピックのために書かれた武満徹「ウィンター」と、ロシアの大地・自然を思い起こさせるチャイコフスキーの「冬の日の

幻想」は、“冬”を代表する楽曲でしょう。R.シュトラウスの最晩年に作曲された「4つの最後の歌」はヘッセとアイヒンドルフの詩を基に、“死”や“終焉”が季節感を伴って歌われます。ソプラノには名フィル(ボッセ教授の大パッパ)シリーズで素晴らしい歌唱を披露した平松英子が定期に初登場です。

08

定期演奏会 <四季シリーズ>

SUBSCRIPTION CONCERTS <FOUR SEASONS SERIES>

会場=愛知県芸術劇場コンサートホール (座席表=P.28)
AICHI PREFECTURAL ART THEATER CONCERT HALL

第366回 早春 THE 366TH EARLY SPRING

2010.2/26(金) 6:45PM・2/27(土) 4:00PM
2010 FEB. 26 (FRI.) 6:45PM / FEB. 27 (SAT.) 4:00PM

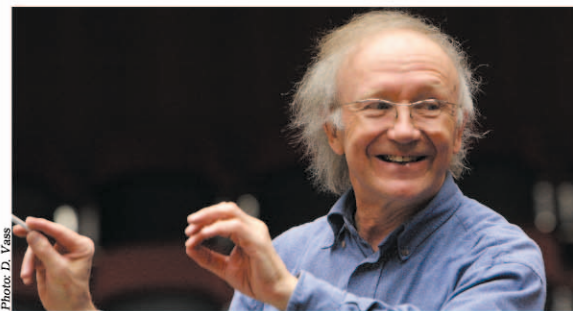


Photo: D. Vries
[指揮・オーボエ]
ハインツ・ホリガー*
Conductor, Oboe: Heinz HOLLIGER*

◆ラヴェル:スペイン狂詩曲

M. Ravel: Rhapsodie Espagnole

◆ルトスワフスキ:オーボエとハープのための二重協奏曲*

W. Lutoslawski: Double Concerto for Oboe and Harp*

◆ホリガー:クリスティアン・モルゲンシュテルンの詩による6つの歌<日本初演>**

H. Holliger: Six Songs for Soprano and Orchestra after Poems of Christian Morgenstern <Japan Premiere>**

◆シューマン:交響曲第1番変ロ長調 作品38「春」

R. Schumann: Symphony No.1 in B flat major, Op.38 "Spring"

1回券料金 S席¥7,000 A席¥6,000 B席¥5,000 C席¥4,000 D席¥3,000
Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年11月4日(水)



[ハープ]
ウルスラ・ホリガー*
Harp: Ursula HOLLIGER*



[ソプラノ]
森茂子**
Soprano: Shigeko HATA**

偉大な音楽家ハインツ・ホリガーが指揮者として日本初上陸です! 自身が作曲したモルゲンシュテルンの「早春」から始まり「秋」に終わる詩を基にした美しい「6つの歌」は、フィッシャーも2008年にパリで演奏し「素晴らしい作品」と語っています。ホリガーが推薦する日本人ソプラノ=森茂子は、ヨーロッパで活躍する逸材です。

1980年にハインツ・ホリガーとその妻ウルスラによって初演されたルトスワフスキ作品は、弦楽器と打楽器だけを伴奏とした「二重協奏曲」。ルトウェルンでの初演の興奮が、名古屋で再現されます!

シューマン作品をたびたび取り上げることで知られるホリガーは、明るく華やかな交響曲「春」で名フィルと早春の喜びを歌います。

第367回 春初めてのカッコウを聞いて THE 367TH ON HEARING THE FIRST CUCKOO IN SPRING

2010.3/12(金) 6:45PM・3/13(土) 4:00PM
2010 MAR. 12 (FRI.) 6:45PM / MAR. 13 (SAT.) 4:00PM

◆ディーリアス:春初めてのカッコウを聞いて

F. Delius: On Hearing the First Cuckoo in Spring

◆ヴォーン・ウィリアムズ:揚げひばり*

R. Vaughan Williams: The Lark Ascending*

◆R.シュトラウス:アルプス交響曲 作品64

R. Strauss: Eine Alpensinfonie, Op.64

1回券料金 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000
C席¥3,000 D席¥2,000 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年11月4日(水)



Photo: Shawn Norbury
[指揮]
クラウス・ペーター・フロール
Conductor: Claus Peter FLOR



[ヴァイオリン]
滝千春*
Violin: Chiharu TAKI*

鳥たちが飛び交う森の中で作曲したディーリアス「春初めてのカッコウを聞いて」、ひばりがさえずりながら上空高く舞う様子を独奏ヴァイオリンで表現した、ヴォーン・ウィリアムズ「揚げひばり」。自然の中の鳥を描いた2人のイギリス人作曲家に続いて、R.シュトラウスが自然そのものの偉大さを描いた「アルプス交響曲」で、シーズンは

大団円を迎えます。指揮者はマレーシア・フィルの音楽監督に就任したばかりのクラウス・ペーター・フロール。世界中で引っ張りだこの仕事人が名フィルに初登場。そして2007年8月に名フィルと初共演し、聴く者をあっと驚かせる実力で魅了した若きヴァイオリニスト=滝千春が定期初登場です。

定期会員について ABOUT ANNUAL SUBSCRIBERS

SUBSCRIPTION CONCERTS <FOUR SEASONS SERIES> 定期演奏会<四季シリーズ>を お得に楽しみませんか? 定期会員のご案内

定期会員って?

名フィルの定期演奏会11公演分のチケットを通してお求めいただいた方が「定期会員」です。
1公演ごとにお求めいただくよりチケットがお値打ちになるのはもちろん、会員割引や先行予約、公開ゲネプロへのご招待など様々な特典があります。注目の指揮者・ソリストが続々登場し、意欲的なプログラムでお贈りする名フィルの定期演奏会、ぜひ充実した演奏を1年にわたってお楽しみください。

料金表								
席 種	セレクト・プラチナ席 (限定24席)	プラチナ席	S席	A席	B席	C席	D席	Y<ユース>席 (24歳以下)
1回券合計金額	¥144,000	¥108,000	¥72,000	¥61,000	¥50,000	¥39,000	¥28,000	¥11,000
定期会員券なら 30%割引!								
定期会員券料	¥100,800	¥75,600	¥50,400	¥42,700	¥35,000	¥27,300	¥19,600	¥11,000
割引額	¥43,200	¥32,400	¥21,600	¥18,300	¥15,000	¥11,700	¥8,400	割引なし

※Y<ユース>席のみ、定期会員券でも割引がございません。あらかじめご了承ください。

定期会員の10大特典!

- 割引料金**
定期演奏会ごとに1回券をお求めいただくより30%割引になります。
- マイシート**
シーズンを通して毎回同じお席で定期演奏会をお楽しみいただけます。
- 曜日振替**
満席の場合を除き、金曜日⇄土曜日の曜日振替をいたします。(要予約)
- 優先確保**
次シーズンへのご継続の際、優先してお席を確保いたします。
- 先行予約**
一般発売開始前に名フィル主催演奏会の先行予約のご案内をいたします。
- 会員割引**
名フィル主催演奏会のチケットを10%割引でお求めいただけます。
- 会報誌贈呈**
会報誌「めいふいるだより」をお送りいたします。
- ご芳名掲載**
会場でお渡しする演奏会のプログラムにお名前を掲載いたします。
- 公開ゲネプロ**
年1回、本番会場での公開ゲネプロ(総仕上げ練習)へご招待いたします。
- サイン色紙プレゼント**
毎回、定期演奏会出演者の直筆サイン色紙が抽選で当たります。

新規 入会特典!

新規お申込みの定期会員の方に、1席につき1枚、
右記の名フィルCDを **もれなくプレゼント!**

- ① <「ブラハの春」音楽祭の名フィル> 武蔵英明、トマーシュ・ハヌス指揮
- ② <奇跡のマーラー> 小林研一郎指揮
- ③ <名フィル・ポップス/ライヴ> ポプ佐久間指揮



お申込み・お問合せ 名フィル・チケットガイド Tel:052-339-5666 (平日9:00am~5:30pm)

[ウェブサイトなら24時間、いつでもお申込みOK!]

Web:http://www.nagoya-phil.or.jp/

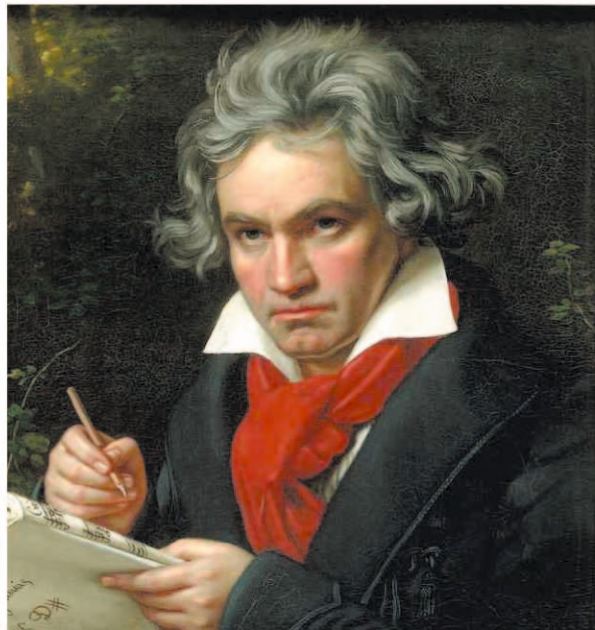
名フィル

検索

市民会館名曲シリーズ <ベートーヴェン・ツィクルス>

FAMOUS WORKS SERIES AT CHUKYO UNIVERSITY CENTER FOR CULTURE & ARTS
<BEETHOVEN CYCLE>

会場＝中京大学文化市民会館オーロラホール（座席表＝P.29）
CHUKYO UNIVERSITY CENTER FOR CULTURE & ARTS AURORA HALL



Beethoven FAMOUS WORKS SERIES BEETHOVEN CYCLE

金山の市民会館を舞台に、親しみやすいプログラムでお贈りしている「市民会館名曲シリーズ」。今シーズンはベートーヴェンの交響曲全9曲を演奏する<ベートーヴェン・ツィクルス>でお楽しみください。

アルスター管弦楽団の首席指揮者兼芸術アドバイザー時代にベートーヴェン・ツィクルスを指揮、高い評価を受けている常任指揮者ティエリー・フィッシャーの指揮でどうぞ。

<ベートーヴェン・ツィクルスとティエリー・フィッシャー>

アルスター管弦楽団の首席指揮者兼芸術アドバイザー時代の2003年11月～2004年3月に、ベートーヴェン・ツィクルスを指揮している。
※すべて演奏はアルスター管弦楽団、会場はベルファスト、アルスター・ホール

2003年11月28日（金）

●ベートーヴェン：交響曲第1番、第5番

（フィッシャーは、フレージング、リズム、アーティキュレーションがそれぞれ独立して存在するものではないことを理解し、特に「第5番」は初演の聴衆が感じに達しない新鮮さを持っていた。）
[「アイリッシュ・タイムズ」12月1日]

2003年12月2日（火）

●ベートーヴェン：交響曲第2番、第4番

（それぞれ交響曲は明るく快活なもので、応答の明快さと繊細なアーティキュレーションをフィッシャーによって与えられていた。）[「ベルファスト・テレグラフ」12月4日]

2003年12月5日（金）

●ベートーヴェン：交響曲第3番

（フィッシャーは確かな“拍”のセンスを持っており、特にアクセントとバランスについて、惜しみない献身的な指揮を行っていた。）[「アイリッシュ・タイムズ」12月8日]

2004年2月27日（金）

●ベートーヴェン：交響曲第6番、第8番

（フィッシャーの「田園」は活発で、明確な組み立て、そしてリズムカルで、誰もが満足するものである。）[「アイリッシュ・タイムズ」3月1日]

2004年3月2日（火）

●ベートーヴェン：交響曲第7番

（交響曲のゆっくりな部分では、フィッシャーは自身が考えている演奏にふさわしいスタイルを明確に打ち出していた。）[「アイリッシュ・タイムズ」3月4日]

2004年3月5日（金）

●ベートーヴェン：交響曲第9番

（フィッシャーはオーケストラ、ソリスト、合唱から素晴らしい演奏を引き出していた。音響的に素晴らしいアルスター・ホールでこの音楽を聴くことは特別な喜びである。）[「サンデー・トリビューン」3月14日]

<ベートーヴェン・ツィクルスと名フィル>

1991年4～12月、当時常任指揮者のモーシェ・アツモンをはじめ4人の指揮者でベートーヴェンの全交響曲演奏を行っていた。

※すべて会場は名古屋市民会館大ホール

1991年4月13日

●ベートーヴェン：交響曲第2番、第8番 [指揮] 大友直人

1991年5月10日

●ベートーヴェン：交響曲第3番 [指揮] モーシェ・アツモン

1991年6月16日

●ベートーヴェン：交響曲第1番、第5番 [指揮] モーシェ・アツモン

1991年9月19日

●ベートーヴェン：交響曲第4番 [指揮] 山下一史

1991年10月16日

●ベートーヴェン：交響曲第6番 [指揮] 岩城宏之

1991年11月15日

●ベートーヴェン：交響曲第7番 [指揮] モーシェ・アツモン

1991年12月24,25,26日

●ベートーヴェン：交響曲第9番 [指揮] モーシェ・アツモン

第16回 ベートーヴェン・ツィクルス#1 THE 16TH BEETHOVEN CYCLE #1

6/6（土）4:00PM

JUN. 6 (SAT.) 4:00PM

◆ベートーヴェン：交響曲第1番ハ長調 作品21

L. v. Beethoven: Symphony No.1 in C major, Op.21

◆ベートーヴェン：交響曲第3番変ホ長調 作品55「英雄」

L. v. Beethoven: Symphony No.3 in E flat major, Op.55 "Eroica"

1回券料金 プラチナ席¥7,500 S席¥5,000
A席¥4,000 B席¥3,000 C席¥2,000
D席¥1,500 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年2月25日（水）

若くから作曲家、ピアノの演奏家として名声を得ていたベートーヴェン。そんな彼が書き上げた最初の交響曲は意外に遅く、1800年、30歳のときに満を持して完成します。ハイドン、モーツァルトの二大先人を学び、模倣した上で、ベートーヴェンの個性が少しずつ磨かれた時期の作品です。

「ある英雄の思い出のために」と楽譜の表紙に書かれた第3交響曲は、それまでの交響曲の枠を完全に超えた作品。その長大さはもちろん、雄大な楽想や「葬送行進曲」を第2楽章に盛り込むなどの独創性からは、難聴ゆえ自殺さえ考え、そして乗り越えたベートーヴェンの精神的成熟が感じられます。



【指揮】
ティエリー・フィッシャー
Conductor: Thierry FISCHER

第17回 ベートーヴェン・ツィクルス#2 THE 17TH BEETHOVEN CYCLE #2

6/7（日）4:00PM

JUN. 7 (SUN.) 4:00PM

◆ベートーヴェン：交響曲第2番ニ長調 作品36

L. v. Beethoven: Symphony No.2 in D major, Op.36

◆ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調 作品92

L. v. Beethoven: Symphony No.7 in A major, Op.92

1回券料金 プラチナ席¥7,500 S席¥5,000
A席¥4,000 B席¥3,000 C席¥2,000
D席¥1,500 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年2月25日（水）

交響曲第1番の2年後（1802年）に完成した第2番は、ロマン派以降でこそ当たり前な「スケルツォ」を初めて交響曲に組み入れたセンセーショナルな作品。第1楽章の主題や、長大なコダなど、後の作品を予感させる箇所が聴かれます。そして最近ではTV等各種メディアでも耳にすることの多かった第7交響曲。ワーグ

ナーは「舞踏の聖化だ」と絶賛し、ウェーバーは「精神病院行きだ」と批判するなど当時から話題性抜群なこの楽曲、初演時のアンコールには第2楽章が再び演奏されました。一定のリズムによって統一された全曲は快く、イ長調の輝かしい響きによって駆け抜けます。



【指揮】
ティエリー・フィッシャー
Conductor: Thierry FISCHER

第18回 ベートーヴェン・ツィクルス#3 THE 18TH BEETHOVEN CYCLE #3

9/12（土）4:00PM

SEP. 12 (SAT.) 4:00PM

◆ベートーヴェン：交響曲第8番ハ長調 作品93

L. v. Beethoven: Symphony No.8 in F major, Op.93

◆ベートーヴェン：交響曲第6番ハ長調 作品68「田園」

L. v. Beethoven: Symphony No.6 in F major, Op.68 "Pastorale"

1回券料金 プラチナ席¥7,500 S席¥5,000
A席¥4,000 B席¥3,000 C席¥2,000
D席¥1,500 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年5月13日（水）

非常に躍動的な第7番に続いて発表された第8番は、古典回帰的なものとなりました。25分程度の楽曲にベートーヴェンの後期交響曲の真髄が凝縮されています。大胆な転調や、強弱の逆転などユーモアの中に緻密さが見受けられる作品です。ベートーヴェン唯一の5楽章形式の交響曲であり、また各楽章に表題が付けられて

いる「田園」。「田舎」、「小川」、「嵐」といった自然を賛美するキーワードで全曲が支配されており、あまりにも有名な第1楽章冒頭のヴァイオリンによって奏される第1主題は、ベートーヴェンがこの作品を作曲したと言われるウィーン郊外の穏やかな風景を思い起こさせます。



【指揮】
ティエリー・フィッシャー
Conductor: Thierry FISCHER

第19回 ベートーヴェン・ツィクルス#4 THE 19TH BEETHOVEN CYCLE #4

9/13（日）4:00PM

SEP. 13 (SUN.) 4:00PM

◆ベートーヴェン：交響曲第4番変ロ長調 作品60

L. v. Beethoven: Symphony No.4 in B flat major, Op.60

◆ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調 作品67「運命」

L. v. Beethoven: Symphony No.5 in C minor, Op.67

1回券料金 プラチナ席¥7,500 S席¥5,000
A席¥4,000 B席¥3,000 C席¥2,000
D席¥1,500 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年5月13日（水）

シューマンによって「2人の北欧の巨人（第3番&第5番）に挟まれたギリシャの乙女」と評された第4番は、ベートーヴェンの交響曲の中で最小の編成となります。1807年に完成し、作家ロマン・ロランが命名した「傑作の森」と呼ばれるベートーヴェンの最も充実した時期に作られた1曲です。

昨シーズンにもフィッシャーの指揮で演奏された、特に有名な第5交響曲「運命」は、第4番と同時期の1807-08年に作曲されました。第4楽章では交響曲史上初めてピッコロ、コントラファゴット、トロンボーンが編成に加わり、非常に華やかな響きが得られています。編成面での第4番との対比も楽しめるでしょう。



【指揮】
ティエリー・フィッシャー
Conductor: Thierry FISCHER

市民会館名曲シリーズ <ベートーヴェン・ツィクルス>

FAMOUS WORKS SERIES AT CHUKYO UNIVERSITY CENTER FOR CULTURE & ARTS
<BEETHOVEN CYCLE>

会場=中京大学文化市民会館オーロラホール (座席表=P.29)
CHUKYO UNIVERSITY CENTER FOR CULTURE & ARTS AURORA HALL

第20回 ベートーヴェン・ツィクルス#5 THE 20TH BEETHOVEN CYCLE #5

12/18(金) 6:45PM • 12/19(土) 4:00PM
DEC. 18 (FRI.) 6:45PM / DEC. 19 (SAT.) 4:00PM



[合唱]
愛知県合唱連盟
Chorus: Aichi Chorus League



[指揮]
ティエリー・フィッシャー
Conductor: Thierry FISCHER



[ソプラノ]
大隈智佳子
Soprano: Chikako OSUMI



[アルト]
小川明子
Alt: Akiko OGAWA



[テノール]
望月哲也
Tenor: Tetsuya MOCHIZUKI



[バリトン]
与那城敬
Baritone: Kei YONASHIRO

◆ベートーヴェン:交響曲第9番二短調 作品125『合唱付』

L. v. Beethoven: Symphony No.9 in D minor, Op.125 "Choral"

1回券料金 プラチナ席¥9,000 S席¥6,000
A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000
D席¥2,000 Y席¥1,000 (24歳以下対象・当日窓口販売のみ)

1回券発売日 2009年9月9日(水)

フィッシャーと名フィルが歩んできた<ベートーヴェン・ツィクルス>の旅の締めくくりはもちろん、年末恒例の「第九」です! シラーの詩「歓喜に寄す」に曲を付けようと思いついてから、30年以上の時をかけて練られた最後の交響曲です。第1〜3楽章の構成の完成度の高さはもちろん、第4楽章において独唱、合唱を含む声楽を盛り

込むなどの独創性は、聴力を失ってなお高い創作意欲を保ち続けたことがうかがえます。ベートーヴェンの人生の集大成として、古典派からロマン派への移り変わりを体現したこの作品の初演(1824年)は、ウィーンの聴衆に熱狂をもって迎えられたと言われています。

<市民会館名曲シリーズ>セット券について ABOUT SET TICKETS FOR FAMOUS WORKS SERIES



FAMOUS WORKS SERIES
<BEETHOVEN CYCLE>

<ベートーヴェン・ツィクルス>を
お得に、セットで楽しみませんか?

セット券のご案内 セット券って?

名フィルの市民会館名曲シリーズ<ベートーヴェン・ツィクルス>5公演分のチケットを通してお求めいただけるのが「セット券」です。1公演ごとにお求めいただくよりチケットがお値打ちになり、毎回同じお席(マイシート)でお聴きいただけます。常任指揮者フィッシャーが名フィルとの2シーズン目に挑むベートーヴェン、その交響曲の世界をお得にお楽しみください。

料金表							
席 種	プラチナ席	S席	A席	B席	C席	D席	Y<ユース>席 (24歳以下)
1回券合計金額	¥39,000	¥26,000	¥21,000	¥16,000	¥11,000	¥8,000	¥5,000
セット券なら 30%割引!							
セット券料	¥27,300	¥18,200	¥14,700	¥11,200	¥7,700	¥5,600	¥5,000
割引額	¥11,700	¥7,800	¥6,300	¥4,800	¥3,300	¥2,400	割引なし

※Y<ユース>席のみ、セット券でも割引がございません。あらかじめご了承ください。

セット券の特典!

◆割引料金◆

演奏会ごとに1回券をお求めいただくより30%お値打ちになります。

◆マイシート◆

5回を通して毎回同じお席で<ベートーヴェン・ツィクルス>をお楽しみいただけます。

お申込み・お問合せ

名フィル・チケットガイド Tel:052-339-5666 (平日9:00am~5:30pm)

[ウェブサイトなら24時間、いつでもお申込みOK!] Web:<http://www.nagoya-phil.or.jp/>

名フィル 検 索